

## 経済社会学会 第50回西部部会研究会

【日時】2006年5月13日(土) 14:00 から 16:30 まで

【会場】神戸大学 経済学研究科 第3学舎 中会議室

(JR 六甲道駅または阪急六甲駅から市バス 36 系統「神大正門前」下車。)

キャンパスマップ：<http://www.econ.kobe-u.ac.jp/access/campusmap/campusmap.html>

【報告者・テーマ】

\* 報告者・予定討論者敬称略

(報告 1)

白石 晃三 (大阪大学・院) 「新古典派経済学の理論構造について」

予定討論者：尾上 正人 (奈良大学)

(報告 2)

張 帆 (神戸大学・院) 「介護保険制度の財政問題 - 介護サービス利用の選好分析 -」

予定討論者：村上 寿来 (大学非常勤講師)

【報告要旨】

(報告 1 の要旨)

別掲の PDF ファイル参照。

(報告 2 の要旨)

公的介護保険制度が実施されてから、人々の介護問題に対する考え方が大きく変わり、それに伴い、関連した介護費用が膨張し、財政が厳しい状況に陥っている。その背景には介護保険制度は家族介護を評価しないことや、1割自己負担などの設計上の問題にあると考えられる。

そこで、コンジョイント分析を用いる介護サービス利用の選好分析を行った結果、家族介護時間の推計係数がマイナスで、1割自己負担額の推計係数が有意に正である結果が得られた。このことから、1割自己負担の需要抑制策は介護保険制度の下では功を奏していないことが明らかになった。

連絡・問い合わせ先：

角村正博 (部会担当理事／神戸学院大学)

078-974-5403 (直) [sumimura@eb.kobegakuin.ac.jp](mailto:sumimura@eb.kobegakuin.ac.jp)

鈴木 純 (事務局担当幹事／神戸大学)

078-803-6808 [suzuj@econ.kobe-u.ac.jp](mailto:suzuj@econ.kobe-u.ac.jp)